

授業科目	教育実習Ⅱ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH31603J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	阿南 寿美子、村上 里絵、末寄 雅美							
授業概要	【実務家教員担当科目】 講義や演習などの授業で学んだ基礎的知識や技能をもとに、幼稚園教諭に求められる実践的能力を養うため、2年前期の1週間にわたって幼稚園において教育実習を行う。なお、実習園では実務家による指導を受ける。							
学生が達成すべき行動目標	1. 幼稚園教育の実際が理解できる。 2. 幼児理解の方法について、実習体験を通して考えることができる。 3. 実習日誌の作成ができる。 4. 教材研究の方法が実習体験を通して理解できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	40	60	100	
知識・理解 (DP1-1)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-2)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					4	6	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					4	6	10	
関心・意欲 (DP3-2)					4	6	10	
態度(DP4-1)					4	6	10	
態度(DP4-2)					4	6	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-2)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-3)					4	6	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの言動について個々の子どもの特性を理解し、働きかけることができる。保育以外の保育者の職務について理解し、積極的に行動することができる。自らの保育を振り返り、保育者からの指導とすり合わせながら、課題を解決するための意識を持つことができる。				子どもの言動を観察し、その意図を推察し理解しようとする意識を持つことができる。幼稚園の教育目標や子どもたちの実態に応じた保育計画を立て、実践することができる。日々のねらいを中心とした観察を行い、子どもの行動や保育者の働きかけから自らの保育に対する認識を深めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>1. 幼稚園での事前オリエンテーション (本学附属園、キリスト教園、出身園など、各学生が希望する幼稚園で実施。原則として教育実習 I とは異なる園とする。)</p> <p>2. 幼稚園での実習 A) 実習園の特色や教育方針の理解をする B) 毎日の保育について記録にまとめ、考察する C) 観察・参加実習をおこなう D) 絵本・紙芝居・手遊び歌・歌唱指導などの実践と振り返りをおこなう E) 指導案を作成し、部分保育をおこなう (園の方針によりおこなう) F) 実習体験を通して、幼稚園教諭に求められる資質や態度を理解し、身につける努力をする</p> <p>3. 実習体験をもとに総合的考察をおこない、自らの今後の課題を設定する</p>	<p>観察・参加実習 《部分実習含む》 (1 週間)</p>	<p>実習園における事前のオリエンテーションの実施 実習日誌の作成・提出 実習園での事後の手続き</p>	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「教育実習 1」の単位取得者であり、「教育実習 1」の事後指導及び「教育実習 2」の事前指導を受講するとともに実習要件を満たしている者。			
テキスト	文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「実習の基本的心得」「教育実習 2 手引き」他随時配布資料			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	「教育実習指導」の学習内容、1 年生で履修した講義や演習、「教育実習 I」を顧みて、学んだ知識や技術、自己課題を生かせるように各自十分復習しておいてください。 決められた教育実習指導を受講していない場合には、実習を延期することもありますので注意してください。 成長・発達過程の子どもたちと出会うという自覚を持って、各自実習に備えて万全の準備をしてください。			
達成度評価に関するコメント	関連レポート、提出資料などについては「教育実習指導」授業内で指示します。 その他については、実習の意欲・態度、実習の態度、協調性、幼稚園に対する理解、子どもに対する理解、知識と技能、保育のまとめと自己課題などから総合的に評価します。 実習指導の指導内容が守られなかった場合は、実習中の実習停止もしくは実習が終了している場合でも単位認定ができないことがあります。			

